

1,000円
中学生以下は無料

働き方改革関連法の
主な項目

- ①労働時間状況の把握
- ②時間外労働の上限規制
- ③年次有給休暇の年5日取得義務
- ④月60時間超の時間外労働の割増率引き上げ

○事業主が具体的に対応しなければならぬ内容

- ②36協定の届出、時間外労働の上限規制

から必要な対応

- 労働条件通知書等の作成
- 法定三帳簿の作成 (労働者名簿、賃金台帳、出勤簿)

働き方改革関連法

- ①従業員の労働時間の記録、管理 (出勤簿、タイムカードまたは日報)
- ②36協定の届出、時間外労働の上限規制

- 労働契約書、労働条件通知書、雇入通知書のいずれも作成していない
 - 法定三帳簿(労働者名簿、賃金台帳、出勤簿)を整備していない
 - 始業と終業の時刻を毎日確認(チェック)していない
 - 36協定届を提出していないにもかかわらず、残業をさせている
 - 有給休暇を制度として策定していない
 - 1日8時間・1週40時間を超える時間を労働者が働いた場合に、残業代を支払っていない
- これら1つでもチェックが付いた場合、労働基準法に違反している可能性があります。

2024年4月より5年間の猶予期間が過ぎ、建設業にも「働き方改革関連法」が適用となりました。従業員を雇用している事業所は対応が来ていないと罰則を受ける事もありますので、今回は改めてポイントとなる部分を掲載します。

就業規則の作成

- ③有休休暇の年5日取得義務
- ④時間外労働の割増率UP

困っている事があればご相談ください。電話にてご予約をお願いします。

働き方改革への対応を



▲初めての取組でしたが、色々な話が出来ました

6月2日(日)、職長の会PALの主催で、同業者のつどい(職種別会合)を支部会館で行いました。各職種の仲間が集まり、現場の待遇や働き方について意見を交わし、大手企業交渉での交渉内容に盛り込むことを目的として、2024年度から取り組みはじめました。1回目の今回は型枠大工の仲間を対象に参加を呼び掛け、当日は橋口PAL会長、高杉副会長、小田澤賃対部長、前川執行委員長のほか3人の仲間が集まり、

参加をいただき、賃金単価の関係だけではなく現場の状況や環境等を含め座談会形式で開催しました。お話しの中で賃金単価をはじめ現場の問題点等を多く伺う事が出来ました。情報をもとに大手企業交渉、賃金PALの取組に役立てていきます。今後も職種別会合を続けていく予定ですので、各業種の方々のご協力をお願いします。

ゲームはイライラ、ゴールで笑顔 環境フェスティバルに参加



▲みんな真剣にチャレンジしました

東久留米市役所で開催された、東京土建は6月9日(日)「第28回東久留米環境フェスティバル」と題して、イライラ棒体験パネルを会場に持ち込み実施しました。環境フェスティバルという事で、環境にやさしい「ソーラー蓄電エネルギー」を使用していることをPRしました。

環境フェスティバルでは初めて実施した企画でしたが、体験会は順番待ちの列ができるほどの盛況ぶりでした。体験会に参加した子供たちは、真剣な眼差しでイライラ棒の難関コースに立ち向かっていました。コースの電線にイライラ棒が触れるとバーが震えて赤いパトランプが点灯します。残念ながらコースを完全制覇できた体験者はいませんでしたが、ゴールに到達したときの子供たちの嬉しそうな笑顔も印象的でした。体験会場の運営にご協力を頂きました皆様ありがとうございました。

仕事対策部 本島厚司

気楽な行動

4月21日(日)、28日(日)の2日間宣伝カー行動をしました。分会内で声掛けをしました。都合が合う仲間が見つからず、妻と二人で乗る事にしました。

初日の21日は妻とウニと3人で乗りました。「今日は野々村さん家は雨戸閉まっているから居ないね。」など話しながら巡回しました。近所を一周りした所でウニは飽きてしまいいりタイアです。実家が中清戸5丁目なので清瀬へGOです。実家で立て看板を設置し、そのま近所を巡り、「ここ石垣さん家だよ。」「ここ西川さん家だよ。」と話しながら仲間の話題をしました。その最中、「この辺りがキムニーの家だよな」と表札を見ながら流していると覚えのあるマダム庭仕事をしながら会釈しました。誰だっけかと思いつきながら表札を確認するとキムニーの家でした。すぐにUターンして戻りましたが姿は無く失礼な事をしてしまいました。ゴメンなさい。」

最後に滝山方面を巡り清水家の前を通ったら清水マダムに手を振ってもらいました。

28日も始めは妻と二人でしたが、翌日29日の水天宮の祭(清瀬)の打合せを仲間としていたら乗ってもらえることになり秋津へGO。元塩分会の杉村真理さんと望月さんが合流して4人で行動になりました。み

青空分会 長谷川重之